

令和3年6月25日

宮崎大宮高等学校弦月同窓会会員の皆さまへ

宮崎大宮高等学校弦月同窓会
会長 内藤 泰夫

宮崎大宮高等学校弦月同窓会総会、懇親会の中止について

会員の皆さん、お元気ですか。早く皆さんの元気な笑顔が見たい、と強く願っているのですが、このコロナ禍では感染も怖くて歯がゆい思いで日々を過ごしています。

本来なら東京オリンピックの開会を目前にして日本中が大いに盛り上がっているはずでした。また、宮崎県でも国民文化祭・障害者芸術文化祭が7月3日に開会しますので、ワクワクして開会を待っているはずでした。しかしながら、このコロナ禍では、用心に用心を重ねて、何事も起こらないように細心の注意を払って開会をすることになります。私も宮崎県芸術文化協会の会長としてかわらせていただいておりますので、楽しみにしていると同時に心配も尽きないところです。

さて、弦月同窓会の総会と懇親会を今年も中止するという判断をいたしました。2年続けて中止という重い決断をせざるを得ませんでした。

高齢の会員の方からは、残された時間がないのでなにがなんでも開催してほしい、という強い訴えをいただきました。また、多くの方からも、本音では、開催してみんなと会いたい、という声が届いています。私も同じ思いです。旧交を温めあい、世代間の交流を図り、弦月同窓会の絆をもっともっと強くしたい、という思いは誰にも負けないと自負があります。

でも、もしもの場合を考えると、会員の皆さんの健康を守るのも会長の責任であると思います。ワクチン接種も始まっていますので、来年には私たちを取り巻く状況が好転していると信じます。

どうか、会員の皆様におかれましては、ご健康で健やかに過ごされて来年再会できますことを心より祈念いたしております。